

MRI造影剤検査を受けられる方へ

【造影剤副作用】

※ 造影剤の種類により多少異なります

- ① 《軽度》（100人に1人以下の割合）
嘔気 蕁麻疹 発疹 むくみ かゆみ 頭痛 めまい 熱感 動悸等
- ② 《重篤な症状》（約1万人に1人以下の割合）
呼吸障害 血圧低下 意識障害等の緊急処置を有するショック症状
- ③ 《遅発性アレルギー》（きわめて稀）
1時間～数日後に上記の軽度な症状が現れる事がある

【造影剤の種類】

※ 検査目的により使い分けます

- ① ガドリニウム製剤：血管系の描出、腫瘍系の検出・鑑別に使用します
Gd製剤は、静脈内投与により尿路血管用ヨード造影剤と同様、血中および細胞外液に分布します、プリモビストでは特に肝腫瘍の検出に優れております
- ② 塩化マンガン四水和物：経口消化管造影剤、主にMRCPで使用
T2強調画像において水の信号を消す働きがあります。
MRCP撮像時において、描出の障害となる胃・十二指腸に存在する水分の信号を消す為に使用します。無色透明またはわずかに白濁した液体で、わずかに甘味があります。

【前処置・指示等】

- ① MRCP(胆嚢、膵臓の撮影)で予約時間が午前の場合、朝食及び水分不可
(牛乳などの乳製品も不可)
予約時間が午後の場合、朝食以降絶飲食、その他の部位では前処置ありません。
- ② 予約時間の30分前には恵佑会にて受付を済ませてください
- ③ 当日は必ず申込用紙下部の『恵佑会札幌病院からのご連絡』をお持ちください
- ④ 遅発性アレルギーと思われる症状が現れた場合には、速やかに連絡するようご指示ください。

【アクセス】



札幌市白石区本通14丁目北1-1 TEL 011-863-8800



恵佑会札幌病院

地域医療連携室